

# 地域に密着した総合防災訓練を実施

武蔵野市内の都立高校において、市内防災会などの地域コミュニティが連携し、高校生を対象とした地域に密着した総合防災訓練を実施しました。消防署、消防団、災害時支援ボランティアは東京消防庁公式チャンネルで事前学習した生徒に対して、共同で応急救護訓練指導を実施しました。また、隣接する広域避難場所となる都立公園では、東京都公園協会職員による防災トイレなどの設備紹介や武蔵野市防災課による防災備蓄品の紹介が行われ、同校の避難所を運営する自主防災組織からは、地元ならではの内容を盛り込んだ防災講話がありました。

いざという時に、防災の担い手として期待される高校生への「3年ぶり」の訓練は、デジタル教材と実動訓練、さらには地元団体や行政機関等が協力した、まさにベストミックスな訓練となり、指導者も自然と熱が入りました。

